

道の駅「のざわおんせん」（仮称）駅長候補者募集要項

野沢温泉村は長野県の北部に位置する人口 3,479 人（平成 27 年国勢調査）の自然豊かな小さな山村です。村の総面積は 57.95 k m²で、日本有数の規模を誇るスキー場や歴史ある温泉地を抱える観光産業中心の野沢地区と、国道 117 号線沿線で農業を主産業とする北部地区に分かれており、全国屈指の豪雪地帯でもあります。

野沢温泉村では、この北部地区に道の駅を新たに整備し、地元産農産物などの恵まれた地域資源を活用しながら地域活性化を図ることとしています。

この道の駅は、日本最長の千曲川沿いに広がる田園風景や山並みの眺望が美しい国道 117 号線市川バイパス沿線の虫生（むしう）地区に整備することとしており、平成 31 年春の開業を目指しています。快適な休憩空間や道路・観光情報の提供、地元農産物のレストランでの提供や直売所での販売、特産品の加工製造・販売などを行うほか、防災拠点としての機能も整備し、賑わいと活力のある安心・安全な地域づくりを進めるための拠点施設として活用してまいります。

運営は村直営でスタートすることとしておりますが、道の駅の開業準備から携わり、開業後は事業運営の駅長（総括支配人）を務めていただく候補者を、「地域おこし協力隊」として広く全国から募集します。民間企業等で培われたマネジメント能力、経営感覚、柔軟な発想力・企画力等を即戦力として発揮していただける情熱のある人材のご応募をお待ちしています。

1 スケジュール

平成 29 年 4 月 1 日	～	平成 30 年 3 月 31 日	道の駅設計業務
平成 29 年 12 月 1 日	～	平成 30 年 1 月 10 日	駅長候補者募集
平成 30 年 1 月	～	平成 30 年 2 月	駅長候補者一次試験（書類） 駅長候補者二次試験（面接）
平成 30 年 4 月 1 日	～		駅長候補者配置 道の駅工事
平成 31 年 4 月 1 日			道の駅開業
平成 31 年 4 月 1 日	～		6 次産業化施設工事（予定）
平成 32 年 4 月 1 日			6 次産業化施設開業（予定）

2 募集内容

(1) 募集職種 野沢温泉村が整備し運営する道の駅駅長候補者 1 名

(2) 業務内容

① 道の駅「のざわおんせん」（仮称）の運営

(a) 運営方針

道の駅の整備予定地は、虫生活活性化センター（ふるさと物産センター「ねんりん」）、農産物直売所、公衆トイレ、駐車場を備え、平成 28 年度まで「村の駅」として運営してきた場所であり、現在は、虫生活活性化センターの営業を休止し、農産物直売所を村直営で営業しています。

野沢温泉村では、これらの施設の敷地内で、国道 117 号線市川バイパスから視認性の良い場所に、新たに新物産センター（レストラン・ショップ棟）を建設し、道の駅として登録し運営を行う計画としています。

運営にあたりましては、地域資源の活用による賑わいのある交流空間の創造、新たな雇用の創出、野沢温泉村の魅力発信機能の強化等により、地域の活性化を目指すとともに、災害時には防災拠点として活用し安全・安心な地域づくりにも寄与します。

また、同一敷地内の農産物直売所は、地元農家が出荷者協議会を組織して安全・安心・新鮮な地元産の農林産物を直接観光客や住民に提供し、地域農業の振興と農村地域の活性化に寄与しています。特に、この農産物直売所は、道の駅全体の魅力、集客力を高める重要な施設となりますので、新たに整備する新物産センターとともに、一体的に運営を行います。

(b) 施設概要

新物産センター（新設）	レストラン・ショップ棟 木造平屋建て 延床面積 348.26 m ² （予定）
農産物直売所・公衆トイレ棟（既設）	木造平屋建て 延床面積 145.74 m ²

(c) 開業前の主な業務

- ・新物産センター（新設）の店舗・厨房等レイアウト、各種備品類調達等の検討。
- ・レストランメニュー開発、ショップ販売物品選定、販売価格設定、スタッフ採用、営業体制整備など。

(d) 開業後の主な業務

- ・道の駅の運営管理、企画、人事・労務管理、経理等、経営全般のマネジメント。

② 隣接施設「虫生活活性化センター」（ふるさと物産センター「ねんりん」）の運営

(a) 運営方針

平成 6 年に農業・農村の活性化を図るための施設として建設し、農村地域の住民が中心となり、都市住民との交流による地域活性化や住民福祉の向上のため多目的に利用されてきました。しかし、景気の低迷や上信越自動車道の全線開通に伴い新潟方面からの国道利用者が減少したことなどにより、現在は営業を休止しています。

このたび、同一敷地内で道の駅を整備することを契機として、休止している施設の一部を改修して 6 次産業化の機能を持たせ、農林産物の加工による新たな付加価値の創出等により地域活性化を図ることとしました。

具体的には、施設内に農林産物加工所を整備し、農林産物の生産振興と農業活動の活性化を図り、製品を新物産センターで利用するほか、観光産業と連携し村内宿泊施設等で提供するなど、特産品としての価値を高めていきたいと考えています。また、施設内における加工製造等の体験実習も行う計

画としています。

加工製品につきましては、大豆の生産振興とあわせた「ゆば」や、村内基幹農産物の米を利用した「甘酒」等を想定しています。

施設改修は平成 31 年度を予定しており、平成 32 年度からは道の駅関連施設として一体的に運営する予定です。

(b) 施設概要

鉄骨造平屋建て	延床面積	600 m ²
	うち地域展示・交流ホール	133.4 m ²
	料理体験実習・試食室	53.3 m ²
	多目的ホール	91.8 m ²
	農産物加工所	146.8 m ²

(c) 施設改修前の主な業務

- ・農産物加工所等のレイアウト、各種備品類調達等の検討、販路の開拓。

(d) 施設改修後の主な業務

- ・道の駅と併せた施設管理・労務管理、新たな加工品の開発・販路開拓。

(3) 募集対象、雇用条件等

募集対象	下記に掲げる全て要件を満たす方。 (1) 年齢満 35 歳以上～63 歳未満の方（平成 30 年 4 月 1 日時点）で、性別は問いません。 (2) 3 大都市圏、政令指定都市、その他の都市地域（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）に在住の方で、野沢温泉村へ生活拠点を移し、住民票を異動できる方。 (3) 道の駅の運営とともに、観光振興や地域振興にも意欲と情熱を持ち、民間企業等で培われたマネジメント能力、経営感覚、柔軟な発想力・企画力・営業力等を即戦力として発揮できる方。地域住民と積極的にコミュニケーションを図り、コミュニティ活動に意欲的に参加できる方。 (4) 民間企業等で、小売・流通、企画・宣伝、経営等の実務経験を 5 年以上有する方。 (5) 普通自動車運転免許を有する方。 (6) パソコンのワード、エクセル等の操作ができ、SNS 等による情報発信ができる方。 (7) 心身ともに健康な方。 ※地方公務員法第 16 条の欠格事項に該当する場合は応募することができません。
勤務場所	(1) 道の駅開業前 野沢温泉村大字豊郷 9817 番地 野沢温泉村役場観光産業課農林係 (2) 道の駅開業後 野沢温泉村大字虫生 2373 番地 2 新物産センター（新設）
勤務時間	(1) 勤務日数：原則週 5 日 (2) 勤務時間：原則 8 時 30 分から 17 時 15 分（1 日 7 時間 45 分） (3) 休日：土・日・祝日及び年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）を原則としますが、業務により休日に勤務することがあり、その場合は振替休日対応となります。 (4) 休暇：年次有給休暇、特別休暇制度あり。（野沢温泉村嘱託職員の規定に準ずる。）

雇用形態・ 期間	(1) 地域おこし協力隊員（村嘱託職員に準ずる。）として雇用。 (2) 平成30年4月1日から1年間ですが、活動状況等により道の駅開業後に駅長として採用し、地域おこし協力隊任期終了後も勤務していただく予定です。ただし、現時点でその身分を保証するものではありません。
給与等	月額 約26万円から34万円（年齢、前歴等経験年数により異なります。）賞与あり。退職手当等は支給しません。
待遇・福利 厚生	(1) 健康保険・厚生年金・雇用保険に加入していただきます。 (2) 村内の住居に入居していただきます。（地域おこし協力隊としての雇用期間中、最長3年間は住宅家賃を野沢温泉村が負担します。） (3) 業務上必要となる自動車（活動車両）・消耗品・備品等は野沢温泉村が用意し、貸与します。 ※但し、日常生活の移動手段として、“自家用車”は必要不可欠です。個人で用意していただくことをお勧めします。 (4) 活動に係る経費は、協議の上、予算の範囲内で野沢温泉村が負担します。（例：研修旅費、活動車両燃料費等） (5) 上記以外の経費は自己負担となります。 例：住居に係る光熱水費、個人の電話等の通信費、引っ越しに要する経費、活動期間中の生活に必要な備品等 (6) 業務に支障が無い範囲において、定住につなげるためや地域住民から頼まれる仕事については、協議の上、兼業を認める場合もあります。
応募方法、 提出書類	(1) 応募方法 応募提出書類に必要事項を記入し、直接または郵送で提出してください。（当日消印有効） (2) 提出書類 ①長野県野沢温泉村「地域おこし協力隊員」応募用紙（様式） ※様式は野沢温泉村公式ホームページからダウンロード可 ②履歴書（市販のもので可 写真添付 直筆） ③職務履歴書（横書きの任意様式。履歴書の「職歴」欄に記載したものうち、今回の応募分野に係る業務を詳細に記載。） ④小論文（A4版縦長用紙に横書きで2,000字以内） テーマを「私が目指す道の駅」とし、どのように自身の職務経験を活かし、道の駅を通じて地域の活性化を図るのか、これまでの事業活動や野沢温泉村の地域資源を踏まえて述べてください。 ⑤現住所地の住民票抄本 1通
申込受付 期間	平成29年12月1日から平成30年1月10日まで
選考の流れ	(1) 応募書類の提出（提出書類は返却しません。なお、記載されている個人情報については秘密を厳守します。） (2) 第1次選考 「書類審査」、「論文審査」を行い、結果を文書で通知します。 (3) 第2次選考 第1次選考合格者は、野沢温泉村において下記の日程により1泊2日の準備研修に参加していただき、あわせて第2次選考試験（面接）を行います。なお、詳細日程は第1次選考合格通知とともにお知らせします。 平成30年2月1日（木）～2月2日（金）

	<p>この研修及び第 2 次選考試験にかかる野沢温泉村までの往復交通費は個人負担となります。ただし、野沢温泉村内での宿泊は、村が手配及び費用負担をします。</p> <p>(4) 最終選考 合否結果は、平成 30 年 2 月 9 日までに第 2 次選考試験受験者全員に文書で通知します。</p>
参考 URL	http://www.vill.nozawaonsen.nagano.jp/

3 お問合せ先／応募書類提出先

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 9 8 1 7 番地

野沢温泉村総務課企画財政係 あて

(封筒に「道の駅長候補者応募書類在中」と朱書して下さい。)

TEL : 0269 (85) 3111 E-mail : kikaku@vill.nozawaonsen.nagano.jp

募集担当 : 野沢温泉村総務課 企画財政係 岸、嶋田

業務担当 : 観光産業課 農林係 市川、坂井田

【参考】道の駅「のざわおんせん」(仮称) 配置計画図



野沢温泉村地域おこし協力隊応募用紙

野沢温泉村長 あて

(ふりがな) 氏 名			
性 別	男 性 ・ 女 性	生年月日	S ・ H 年 月 日
住 所 連 絡 先	〒		
電 話	自 宅	()	
	携 帯	—	—
E-mail			
応募条件 確 認 欄	<p><□にチェックしてください></p> <p><input type="checkbox"/>昭和30年4月2日から昭和58年4月1日の間に生まれた者</p> <p><input type="checkbox"/>3大都市圏と政令指定都市または地方都市（条件不利地域を除く。）から野沢温泉村に生活拠点を移し、住民票を野沢温泉村へ移動できる。</p> <p><input type="checkbox"/>民間企業等で、小売・流通、企画・宣伝、経営等の実務経験が5年以上ある。</p> <p><input type="checkbox"/>心身ともに健康で過疎地域の活性化に意欲があり、民間企業等で培われたマネジメント能力、経営感覚、柔軟な発想力・企画力・営業力等を即戦力として発揮できる。</p> <p><input type="checkbox"/>地域になじみ、地域住民と協力しながら積極的にコミュニティ活動に取り組める。</p> <p><input type="checkbox"/>メールのやり取りやワード、エクセル等、パソコンを日常的に利用し、SNS等による情報発信ができる。</p> <p><input type="checkbox"/>地方公務員法第16条に規定する一般職の職員の欠格条項に該当しない。</p> <p><input type="checkbox"/>活動期間終了後、定住及び村内事業所等への就業に意欲がある。</p>		
家族構成	配偶者（ 有 ・ 無 ） 扶養者（ 有 ・ 無 ）扶養者有の場合はその人数 __人		
現在の職業・ 勤 務 先			

- 提出書類 ①野沢温泉村地域おこし協力隊応募用紙（本紙）
 ②履歴書（市販のもので可 写真添付 直筆）
 ③職務履歴書（横書きで任意は様式。履歴書の「職歴」欄に記載したもののうち、今回の応募分野に係る業務について詳細に記載。）
 ④小論文（A4版縦長用紙に横書きで2,000字以内）
 ⑤現住所地の住民票抄本 1通